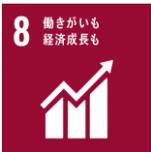
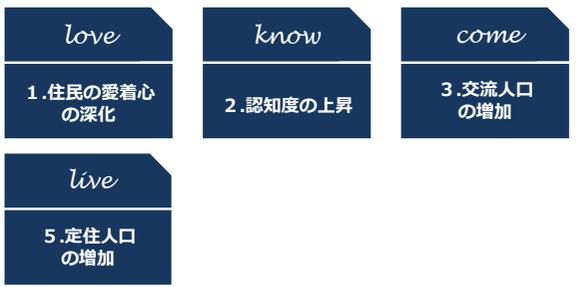


# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 1

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
体験活動 ふるさと「いまり」を発見！	1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	「伊万里が好き」という児童・生徒の割合 90%以上(小学生) 72%以上(中学生)
	2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体)  伊万里市子ども会連合会	○ 3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	地域の行事に参加している割合 80%以上(小学6年生) 65%以上(中学3年生)
	○ 4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>市内の小・中学生とその家族を対象に、地域の魅力を再発見してもらうための体験学習を実施します。 令和3年度は波多津町をフィールドに、町探検(ウォーキング)、塩づくり体験、魚釣り、地元の料理を堪能、星空観察などを行います。</p>			
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>ふるさと伊万里には、自然がたくさんあります。自分が住んでいる町以外、知らない人もいると思います。波多津町は、伊万里市で唯一、漁港のある町です。市内の子どもたちに潮の香りと緑いっぱいの自然の中で、地域の魅力を再発見してもらう企画です。 新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、ふるさと伊万里をもう一度見直し、その町の人たちと交流を図り、郷土への関心を育むために開催します。 今後も市内の各町で開催予定です。</p>			

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
地元消費でまちを元気に！ (ローカルファーストの推進)	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	1人当たりの市民所得 2,500千円/年
	2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体)	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	成果目標	住みやすさに満足している人の割合 65%以上
伊万里商店連合会	○ 4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>「ローカルファースト」は地域第一、地元優先、地産地消などの意味があり、何かモノを買う、サービスを受けるなら、大手通販や大手スーパーなどではなく、地元の商店・企業から買おうという、ライフスタイルや価値観を指します。</p> <p>また、何か行動する時、その選択が地域にとってやさしいのか、誇りがもてるのか、有益なのかなど、地域を重んじる考え方です。</p> <p>この、ローカルファーストを推進するため、商店連合会でのぼり旗とポスターを作成しました。</p> 		  	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>中央と地方の格差が拡大し、さらには人口減少が進み疲弊する地方がどうしたら活性化していくべきか。まちの商店街をどうにか活性化できないのか。まちをより魅力的にするにはどうしたらよいか。市民一人ひとりが真に豊かな生活をおくるためにはどうしたらよいか。そんな課題を解決するひとつの価値観が「ローカルファースト」です。</p> <p>地域にお金回り稼げる町であれば、雇用を生み出し定住人口が増えます。また、交流人口が増えれば、町は元気になるはず。残念ながら、現在は稼げない町だから、まちなかは空洞化しています。</p> <p>地元の商店で消費すれば地元にお金回り、まちが活気づくと考え、実施しています。</p>			

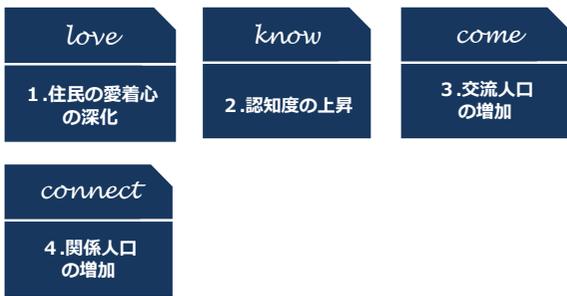
# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 3

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
農業分野での後継者育成	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	認定農業者数(全体) 241経営体
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
伊万里市農業協同組合	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	新規就農者数 55人(累計)
	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>農業分野における後継者育成として、以下の取組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①樹園地を守る会・・・大川町立川、南波多町府招、他</li> <li>②新規就農者(Uターン、リターン組)増へむけた取組み・・・就農セミナー開催、キウイ栽培講習会、シャインマスカット栽培講習会、他</li> <li>③佐賀農業大学校学生 現場研修(泊まり込み)</li> <li>④農大生を営農技術員と同行させ、農家組合員への指導等をOJT教育を通じて研修する</li> <li>⑤耕作放棄地対策(条件は良いが跡継ぎがない園地)、就農希望者、規模増の生産者へのマッチング助成</li> <li>⑥外国人技能実習生受入(ベトナム)</li> <li>⑦担い手育成 販売額1億円を目指す農業者の育成</li> </ul>			
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>市内の農業分野では、担い手不足による伊万里梨、伊万里牛といった伊万里を代表する農産物の産地維持や、耕作放棄地の増加等が課題となっており、伊万里市農業協同組合としても危機感をもって取り組んでいる。</p>			

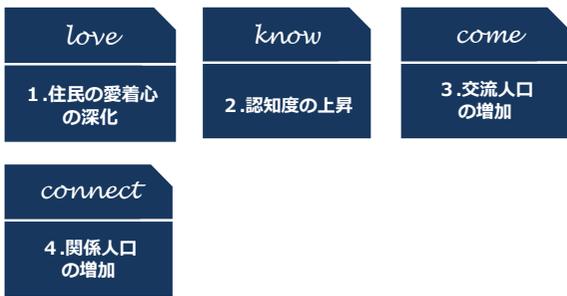
# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 4

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
伊万里市着地型観光(アクティビティ・体験型)アイデアコンテスト	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	本市の観光客数 1,616,000人/年
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取組む人(事業主体) 古伊万里通りのおひなさま実行委員会 (NPO法人まちづくり伊万里・古伊万里通り商店街)	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	1人あたり観光消費額 3,300円/年
	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>伊万里を「あそべるまち」「行きたいまち」にするため、地域資源を活かした楽しい体験・アクティビティを公募しコンテストを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 募集期間 R3.11.15(月)~R4.1.20(木)</li> <li>○ 審査のポイント 伊万里らしさ、情報発信性、伝播性、実現性、共感性、実行可能性、採算性</li> <li>○ 賞金と商品 最優秀賞1点 10万円 優秀賞1点 3万円 特別賞2点 1万円</li> </ul>			
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>「アクティビティ」とは、自然をフィールドにアウトドアで開催される体験・ツアーだけでなく、ものづくり体験、日本伝統文化体験など、体の一部を利用して楽しむ活動そのものを指します。</p> <p>伊万里で出来るおもしろい・わくわくした体験型観光メニューを募り、実現性の高いものを将来的に事業化していこうというものです。</p>			

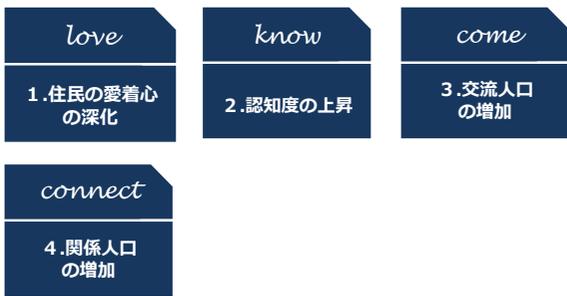
# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 5

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
IMARI“燎”プロジェクト	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	本市の観光客数 1,616,000人/年
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体) 伊万里商工会議所青年部 伊万里飲食業組合	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	1人あたり観光消費額 3,300円/年
	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>伊万里市街地の飲食店通りに賑わいを戻し、日々乗り越えようと頑張っている飲食店を応援するため、ワンコイン(500円)募金を募って伊万里市街地の飲食店通りに提灯を設置し、新たに伊万里横丁と銘打って飲食店の集客につなげ、賑わいを創出しコロナ禍から立ち上がろうとしている飲食店を応援します。</p> <p>そのほか、10月30日の提灯の点灯開始に合わせてスタンプラリーなどを行うハロウィンイベント「よこちょでハロウィン」や、今年で19年目となるイルミネーション点灯式に合わせて、相生橋に花のイルミネーションで装飾する「花のイルミコラボ企画」を実施します。</p>			
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、飲食店通りでは人通りが遠のき、また度重なる時短・自粛等による休業のほか、廃業を考えている飲食店もあり、日々乗り越えることが困難な状況が続いています。</p> <p>この厳しい状況をただ黙って見ているだけでなく、少しでも自分たちにできることはないかと考え、このプロジェクトを立ち上げました。</p>			

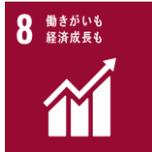
# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 6

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
伊万里市と日本郵便株式会社との包括連携協定に基づく取組	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	住みやすさに満足している人の割合 65%以上
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
伊万里市内郵便局 日本郵便株式会社	○ 3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	成果目標	1人当たりの市民所得 2,500円/年
	○ 4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>伊万里市と日本郵便株式会社が、相互に連携を強化し、郵便局ネットワーク等の活用を通じて、本市の活性化及び市民サービスの向上等を図るとともに、地方創生に資することを目的として締結した包括連携協定に基づき、さまざまな連携事業に取り組みます。</p>			
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>1. 安全・安心な暮らしの実現に関すること ○道路の異常や土砂崩落等を発見した際の情報提供 ○道路への不法投棄廃棄物の情報提供 ○消費者被害防止のための見守り活動 ○高齢者見守りネットワーク事業の推進 ○災害発生時の協力</p> <p>2. 地域経済活性化に関すること ○ふるさと納税返礼品取扱事業への参加 ○ふるさと小包への地場産品の活用 ○郵便局等でのイベントの開催</p> <p>3. 未来を担う子どもの育成に関すること ○子ども110番等、子どもの見守り活動 ○郵便局見学・職場体験の積極的な受入れ</p> <p>4. 女性の活躍推進に関すること ○男女協働参画推進に関する広報・啓発への協力 ○男女協働参画に関するセミナーの開催</p> <p>5. その他(地域の活性化及び市民サービスの向上等、地方創生に関すること)</p>			

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 7

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
誰かと伊万里	1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	本市の観光客数 1,616,000人/年
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体) 伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会会長 戸田 順一郎	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	1人あたり観光消費額 3,300円/年
	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
家族や友人などを連れて伊万里に来る機会を増やします。		 	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
伊万里に来させていただくことは少なくないのですが、一人で来ることが大半です。誰かと一緒に来る機会を増やし、伊万里の交流人口拡大に微力ながら寄与できればと思います。		  	

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 8

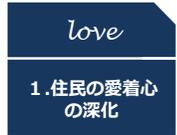
取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
「こんにちは」大作戦	1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	住みやすさに満足している人の割合 65%以上/年
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体)  総市民 (提案者:推進委員会 石本委員)	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	—
	○ 4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>1. 「こんにちは」と出会った人に挨拶をする。 2. 「こんにちは」のあとにプラスワンの言葉をつける。 3. 笑顔を返す</p>			
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>①「いつでもできる どこでもできる 誰とでもできる」をコンセプトに考えました。 ②こちらから「こんにちは」と声をかければ、声をかけられた人は幸せな気分になります。そこに住む人が優しく、心が温かいことが、選ばれるまちの重要なポイントだと考えます。 ③つながりや助けの第1歩、孤立を防ぐ方策の一つとなってほしいです。</p>			

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
伊万里をスイーツの都にして、盛り上げる！！	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	本市の観光客数 1,616,000人/年
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体)  有限会社 城月堂 スタッフ全員で	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	Instagramにおける「#伊万里」 「#imari」のタグ数 25万件(累計)
	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>和洋菓子、カフェやジェラートを通して他県からも遊びに来たくなるような店づくりを行い、お菓子にゆかりのある伊万里をSNSなどを通じて、もっと全国に発信していくことで、伊万里の活性化に繋げていきます。</p>			
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>伊万里にはお菓子の神様がいるのに、あまり知られておらず、伊万里に来るといよりは、どこかに行くついでに伊万里に立ち寄るとい人が多いので、伊万里は焼き物だけでなく、お菓子にも精通しているということ、伊万里のお菓子を通じて町の活性化に貢献し、伊万里に遊びに来たくなるような観光名所となるような場所を作りたいと思った。人口がますます減少する中、佐賀県内での雇用をもっと増やし、都会に出ていく人を少なくし、かつ伊万里で働きたい人を増やしていきたいと考えています。 お菓子と接客でお客様の幸せを提供できるように、和洋折衷のお店づくりをしていきたい。</p>			

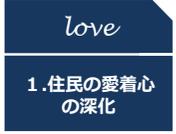
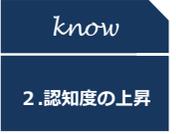
# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 10

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
地方創生へ繋がる情報発信ができる「クリエイター教育」を構築する。	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	1人当たりの市民所得 2,500千円/年
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
FUSE 川浪 勇太	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	Instagramにおける「#伊万里」 「#imari」のタグ数 25万件(累計)
	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
クリエイターとして多方面から仕事をもらえるようになる。		  	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>地域には魅力はたくさんあるにも関わらず、地方創生が難しいのは、「情報発信の弱さ」に尽きるのではないかと考えている。</p> <p>地方では情報拡散に関して、クリエイティブな職業を育てることができていないのが現状である。それは、圧倒的に「仕事量」が少ないこと。仕事がないと、人を雇えない、雇わないから人は育たない。できる人がいなければ他所に依頼するしかない。他所へ予算が流れ、さらに実績やノウハウを持って行ってしまふ。行政が行っている企画などの「プロポーザル」の仕様書に「市内業者に限る」などの文言を入れて、市内業者に依頼することでもっと町の魅力や情報発信方法のノウハウや情報を町に落とし込むことができるはずだ。そうすることで、トライ&amp;エラーが可能になり、「ノウハウ」や「技術」を磨くことができ、地方創生に向けて「魅力を伝える情報発信」ができるクリエイターを育てることができると考えている。</p>		  	

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 11

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
①長生きするなら、いまりで、決まり！ ②昔を知るなら、いまりで、決まり！ ③食べ歩きなら、いまりで、決まり！	1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	「伊万里が好き」という児童・生徒の割合 90%以上(小学生) 72%以上(中学生)
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体)  自治会、老人クラブ、子ども会など (提案者:市職員)	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	地域の行事に参加している割合 (小学6年生・中学3年生) 80%以上(小学生) 65%以上(中学生)
	○ 4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
各行政区や単位老人クラブ、単位子ども会などの取組として ①長寿者に敬意を表し、「わがまちのご長寿ランキング！」 ・自治公民館やコミュニティセンターで掲示する。 ②昔を学び、知るため「わがまちの史跡マップ作り!」、「わがまちの名人探し大作戦！」 ・子ども会と老人会と一緒に史跡めぐりや昔遊びをする。 ・子どもから高齢者へお礼のお手紙を送る。 ・子どもから「名人認定証」を渡す。 ③家族で「わがまちのミシュラン探し大作戦！」 ・親子でおいしい店を探す。子どもが「おいしい」と言えば先に配っておいた「おいしいシール」を子どもから飲食店に渡す。店はボードにシールを貼っていく。		   	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
地域コミュニティが希薄化している現状の中で、自治公民館やコミュニティセンターを拠点に、子どもと高齢者が一体となって昔を学び、懐かしむとともに、ふるさとを大切に思う郷土愛を育むことを目的とする。 引きこもりがちな高齢者と屋外での遊び方を知らない子どもたちが融合し、郷土の魅力を発見することができる。		  	

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 12

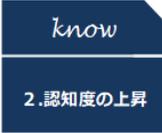
取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
<p>まちなかを盛り上げたい</p>	1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	<p>本市の観光客数 1,616,000人/年</p>
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
<p>取り組む人(事業主体)</p> <p>伊萬里まちなか一番館 館長 伊葉 聖高</p>	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	<p>Instagramにおける「#伊万里」 「#imari」のタグ数 25万件(累計)</p>
	○ 4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>館長をがんばる！ かつての伊万里のまちなかの賑わいを取り戻せるよう、番館構想やリノベーションのまちづくりを進める。</p>		  	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>伊萬里まちなか一番館で働きはじめて、商店街の人通りの少なさやシャッターが降りた店が多くあるなど、昔見た風景とはずいぶん変わったと感じた。 館長に就任したことを期に、まちの賑わいを取り戻すためにでできることをやりたいと思う。</p>		  	

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 13

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
伊万里に来てくださる多くの人に、伊万里を楽しんでもらう。リピーターを増やす	1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	本市の観光客数 1,616,000人/年
	○ 2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体)	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	1人あたり観光消費額 3,300円/年
伊万里市観光ボランティアガイドの会	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
江戸時代から廃藩置県まで、鍋島藩の御用窯があった大川内山や、古伊万里文化漂うまちなかなど、おもてなしの心でガイドをします。		  	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
平成17年6月号「市役所だより」に掲載された、市のガイド養成に応募した人達で団体を作りスタート。現在は30名の会員で活動しています。伊万里の古いまち並や伝統文化、自然環境など、伊万里の良さが子や孫に繋がっていくよう、一步一步しっかりと地に足をつけ、観光で活気のあるまちづくりに貢献したいと思っています。		  	

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
食品ロスの解決と国営開発今岳農業団地の再生利用プロジェクト	○ 1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	認定農業者数(全体) 241経営体
	2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
NPO法人伊万里はちがめプラン 伊万里いまだけ小農場	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	新規就農者数 55人(累計)
	4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>現状の生ごみ日量3トンの堆肥化施設を新たに増設し、堆肥の増産を行い生ごみの受け入れ日量5トンを確保します。</p> <p>さらに、食品リサイクル法での再生利用事業計画の認定を受け、近隣市町の生ごみ資源化希望団体や食品会社等への対応を可能にすることで、「第5次環境基本計画」において提唱された新しい概念「ローカルSDGs(地域循環共生圏)ビジネス」の実現を図るとともに、本市における焼却ごみ(食品ロス)の減量化とCO2削減にさらなる貢献を目指します。</p> <p>併せて、増産された堆肥を活用し、当法人の隣接地にある国営土地改良事業で開発された岳工区農業団地13.1haの再生利用を計画しています。</p>		  	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>当地には2020年8月に武富勝彦さんにより「伊万里いまだけ小農場」が開設され、新規就農者育成農場を目指して整備が進んでいます。当法人としては武富さんと連携しながら、伊万里市と佐賀大学の協力を受け増産された堆肥を活用し、今岳農業団地を再生させるために地元農家の有志とともに地場農産物の生産と販路の確率を図りつつ、特産品の開発や菜種、大豆、ソバ、麦等を活用した6次産業化を進め、素晴らしい営農団地への発展を目指します。</p> <p>このために新たな組織を立ち上げ、所得の多様化と雇用機会の確保を目指し、併せて農産物直売所やレストランの経営、加工、調理等により付加価値を付けた販売・サービス・情報発信を行い、総合産業としての農業に位置づけ、若者の就農・就職の場を確保するとともに地域農業の活性化につなげたいと考えています。</p>		  	

# アクションプラン個票(市民・民間事業者)

No. 15

取組の名称	基本目標	関連する総合戦略の成果目標・KPI	
あったかふれあい館構想	1. 産業振興により「活気あふれるまち」をつくる	成果目標	住みやすさに満足している人の割合 65%以上/年
	2. 地域資源を生かし「行きたいまち」をつくる		
取り組む人(事業主体)  松尾 泰子 他9名	3. 市民みんなで「子育てしやすいまち」をつくる	KPI	—
	○ 4. 時代に合った都市づくりで「安心して住みたいまち」をつくる		
取組の内容		関連するSDGs	
<p>地域弱者(高齢者)が健全な生活(老後)を送るために(フレイル、認知症、うつ予防)楽しく集いながらプチアルバイトをしておこづかいを稼ぎ、相互扶助の生きがいづくりのお手伝いをできたらと思います。</p>		  	
その他(これを考えるに至った経緯など)		シティプロモーションの視点	
<p>地域の食品スーパーが撤退したために車を持たない高齢者が困っている現状、また、年金支給日当日のATMの前の行列を見て、現在所有している店舗を使い、高齢者にもできる、余った野菜、物品等を買取り、総菜・弁当にして売り、おこづかいを稼ぎ、楽しく集いながら生きがい作りのお手伝いができたらと思い至りました。</p>		